

## 戸塚 文彦 議員

### 災害時の要援護者対策は

**Q** 問 要援護者名簿を市・地域が共有化し、災害時に活用できるよう関係機関共有方式を採用すべきでは。

**A** 答 災害時に要援護者の情報を共有できる台帳の整備が必要であり、個人情報保護審査会へ審査依頼を行う。また、災害時の要援護者対策のための体制づくりを進める。

### 指定ごみ袋にごみ処理費用を上乗せしては

**Q** 問 ごみの減量と費用負担の公平化、適正処理費用の確保などの成果が見込まれる家庭ごみの有料化を提言するが。

**A** 答 指定ごみ袋へのごみ処理費用の上乗せは、低所得者層に与える影響が大きいと考える。ごみ袋の価格を上げないため、

まずは、ごみの減量化の必要性をPRする。

### 豊沢地区開発の早期事業着手を

**Q** 問 平成10年地元が同意・要望書を提出したが、それ以降放置されている。今後どうするのか。

**A** 答 景気低迷などで計画検討が中断した状況であるが、地権者への説明とともに、引き続き民間企業の情報を収集していく。



市の指定ごみ袋

## 兼子 春治 議員

### 新東名インターの周辺開発の考えは

**Q** 問 新東名の開通を間近に控え、周辺の土地利用構想を策定する考えはないか。また、中村大日線を北へ延ばしインターへ結びつけるべき。

**A** 答 土地利用構想については、森町・掛川市が主体となるが、本市としても情報収集し、周辺を含めた幅広い見地から影響を考え、取り組んでいきたい。

**Q** 問 太田村松線を東に掛川市側に延ばし、掛川市の中央から東名袋井インターへつなげる横軸の幹線道路として整備すべき。

**A** 答 将来構想として市道北原川村松西線から東へ伸びる道路を計画しているため、掛川市西環状線の路線計画との調整について検討する。

### 歴史文書館を建設すべきでは

**Q** 問 古文書や近世役場文書等を保存・活用する施設として浅羽支所3階を利用し、「歴史文書館」を建設すべき。

**A** 答 郷土の歴史資料を公開展示できる総合的な資料館の設置が必要と考えるため、庁舎等あり方検討委員会の結果と併せ十分検討する。



太田村松線の東端(村松地内)